



三田中だより

平成29年度12月号

平成29年12月2日

港区立三田中学校

平和の原点は優しい心

～「夢ふくらむ未来の時間」とは～

校長 渡邊常次

1月7日（火）に3年生が平和祈念朗読劇「あの夏の日に」を上演しました。3年生は、修学旅行で広島を訪れました。事前学習として社会科の特別授業を受け広島に出発しました。戦争や平和、原子爆弾を投下された広島についてしっかり学習し、考え、広島入りしました。今回の朗読劇を、修学旅行の学びの集大成としてとして位置づけています。保護者、来賓の方の感想を一部、紹介いたします。「修学旅行の事前研究から今回の朗読劇に至るまで保護者も子どもとともに勉強させていただきました。朗読劇では、まず、生徒たちの朗読に感動しました。情感あふれる朗読ながらも聴く者それぞれの想像を邪魔しないよう、余分な感情は入れすぎないという、まるでプロの話し手のような見事な朗読でした。BGMの選曲も良く、オルゴールやアコースティックギターの音色などが、主役の朗読を心地よく引き立てていました。戦争や原爆に対する非難や善悪に焦点を当てたものではなく、過去の事実を風化させないための取組みであることが全体の構成からも感じられました。」「とても重いテーマに真剣に取り組まれ、それぞれしっかり思いを心に刻みこんだ朗読は、大変すばらしいものでした。ここまで地道に積み重ねてこられたからこそ心にしみる朗読になったと思います。生徒の皆さんの真摯（しんし）に取り組む姿、そこに導く素晴らしい先生方、先輩の声を真剣に聞こうとする1、2年生の皆さん、本当に素晴らしかったです。」原爆投下から72年。広島を訪れ、多くの犠牲者の無念の思いをけっして忘れてはいけないという強い思いが、自分たちの使命を考えるきっかけになりました。その使命とは、「語り継いでいく」ということであり、広島を離れる時に、それが、一人一人の決意としてかたまりました。そして、学校にもどり、練習に練習を重ねて、「あの夏の日に」という朗読劇で、「語り継いでいく」という使命を見事に体現しました。被爆体験を語ってくださった方が、その講話の中で、「平和の原点は優しい心。周りの人たちを大切に生きてください。」というメッセージを贈ってくださいました。「今、私たちが生きているこの時間は、生きてくても生きられなかった多くの子どもたちの、夢ふくらむ未来の時間でもあったのです。それを思うと、生きている、この“今”という時の重みを感じます。」（平和祈念朗読劇「あの夏の日に」より）多くの人が生きたかった「夢ふくらむ未来の時間」を、このメッセージを心の土台にして、みんなで平和の原点である「優しい心」を日々、こつこつと実践していきましょう。

12月16日（土）の道徳地区公開講座では、一時間目に道徳の公開授業を行った後、「命を読み、聞き、考える」生きていくということ～感謝・希望・夢～というテーマで生徒たちによる朗読会を行います。日航機墜落事故、阪神淡路大震災、大阪教育大附属池田小事件、9・11ニューヨークテロ事件、東日本大震災、病気を克服した青年からのメッセージなど、事件、事故、天災、病気ですらい体験をされた方々が深い悲しみを抱えながらも、「感謝・希望・夢を綴った文や言葉」を生徒たちの朗読で紹介いたします。人が、人生のとても辛い場面に立たされたときに、どのように前を向いて進もうとしているのか、その心のメッセージに真摯に耳を傾け、もう一度生きていくということについて、みんなで考える時間を持ちたいと思います。朗読をする代表の生徒たちは、一生懸命、練習しています。図書室にも今回の朗読会の参考資料として使われた関連本を特設コーナーとして設置しています。ぜひ、読んでみてください。

○ 3年朗読劇を実施しました

11月7日(火) 1、2校時。3年生による朗読劇が体育館で行われ、全校生徒で鑑賞しました。この朗読劇は積み重ねてきた「平和学習」の集大成として行われました。修学旅行で広島を訪れた際に聞いた「被爆体験者の証言」を、“語り継ぐ責務”を抱き実践することで、平和希求を理解させることを目的としました。広島・長崎の被爆者の手記・詩歌等を、感情を込めて朗読する姿は、1、2年生はもとより、参観して下さった保護者、地域の方にも深い感動を与えました。



○ 英語発表会に参加しました

11月8日(水)、平成29年度港区立中学校英語発表会が赤坂区民センターで行われ、3年生の生徒二名が本校の代表として参加しました。そして、一名の生徒のスピーチが3位になりました。おめでとうございます。以下は二名のスピーチのタイトルです。



「Mother's Cooking (私が話すのは、家庭料理の豊かな魅力についてです。ファーストフードが食卓に進出しつつある現代ですが、「おふくろの味」と聞いて、誰もがきっと一つは重い浮かぶ料理があるはず。家庭料理が持つ温かさを是非考えてみてください。〈プログラムより〉)」



「Individuality (あなたは世界中の誰かになれるとしたら誰になりたいですか? 今年の夏、私は外国の女の子と話して、お互いの憧れと思いを知りました。そして、私は憧れを抱きながらも自分を見失わない生き方に気付きました。〈プログラムより〉)」

二人は11月13日(月)の朝礼でスピーチを披露してくれました。

○ 未来の親体験(3年)を実施しました。

11月21日(火) 6校時、3年生が「未来の親体験～ここから始まる赤ちゃんふれあい事業～」を芝地区総合支所区民課保健福祉係とNPO法人・ママの働き方応援隊の協力を得て実施しました。生後4か月から1歳までの赤ちゃんとそのお母さん12組が来校し、生徒とふれあいました。赤ちゃんとのふれあいを通して、生徒たちは、命が誕生することの奇跡や自分たちの成長とそれを支えてきた人々への感謝の気持ちに気が付きました。12組の親子は3か月後の来年2月にもまた来てくれます。赤ちゃんたちの成長が楽しみです。



○ ふれあい講習会(1年)を実施しました。



11月24日(金) 5、6校時。1年生がふれあい講習会を実施しました。港区社会福祉協会みなとボランティアセンターから講師の方2名をお招きして、車椅子やガイドヘルプ(目の不自由な方へのサポート)を体験することによって、障害のある方々を理解しボランティアの方法を学びました。



○ 避難訓練(不審者対応)と薬物乱用防止教室を実施しました。

11月27日(月) 6校時、不審者が校内に侵入した想定で避難訓練をしました。警察の方が扮する不審者が校内に侵入し、その際の通報の仕方、教室内の侵入を防ぐ障壁の築き方、安全な避難の方法を学びました。

避難訓練後、全校生徒が体育館に集まり、三田警察署のスクールサポーターの方より、薬物乱用防止についてお話をいただきました。

☆ 12月～1月上旬のおもな予定 ☆

12月2日(土) もちつき大会	12月25日(月) 終業式
12月4日(月) 朝礼、区子どもサミット 三者面談始(8日(金)まで)	12月26日(火) 冬季休業日始 学力アップ特別講座(午前)始(28日(木)まで)
12月8日(金) 区音楽鑑賞教室(3年)	12月29日(土)～1月3日(水) 年末年始の休日
12月16日(土) 道徳授業地区公開講座、学校評議員会	1月7日(日) 冬季休業日終
12月18日(月) 生徒会朝礼	1月8日(月) 成人の日
12月23日(土) 天皇誕生日	1月9日(火) 始業式

三田中だよりは学校ホームページ (<http://mita-js.minato-kyo.ed.jp/>) にも掲載しています。